

FALプロジェクト概要

災害・防災



テーマ

東日本大震災・福島原発事故の被災地で考える「地域の未来」

連携先

NPO法人コースター（福島県）、福島大学地域未来デザインセンター（福島県）

主な活動場所

福島県

キーワード

東日本大震災、福島原発事故、被災地復興、地方創生

活動内容 概要

2011年3月11日に発災した東日本大震災およびそれに伴う福島第一原子力発電所の事故は、大きな被害をもたらし、今なお復興のプロセスは続いている。今回は、福島県の被災地を訪問し、震災から13年を経た現状と課題を学び、必要なニーズに応じたボランティア活動（イベント・交流等）を企画する。

活動の目的

- ・大規模災害がもたらす社会課題について理解する。
- ・被災地復興の過程を人々の暮らしの次元から理解し、必要な支援のあり方や今後の展望について考える。
- ・被災地から離れた場所に暮らす大学生にできる支援のあり方を考え、連携先や学生同士の連携のもとで実行に移す。

求める人材像

- ・被災地復興や地方創生に興味がある。
- ・他者と協働しながら企画を考案し、実行に移す力がある。
- ・宿泊活動の際に周囲と協調して責任をもって行動できる。

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ 災害・復興問題や地域の課題に関する多面的な理解力
- ▶ 他者と協働するコミュニケーション力
- ▶ ボランティアを通して人に寄り添い、支援できる力

FALプロジェクト概要

災害・防災



テーマ

能登半島地震被災地における復興支援ボランティア

連携先

被災地NGO協働センター（神戸市、石川県に拠点あり）

主な活動場所

石川県能登半島地震被災地

*学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

能登半島地震、復興、災害ボランティア、地方創生、コミュニティ

活動内容 概要

2024年1月1日に発災した能登半島地震では、災害関連死を含む死者は456名、負傷者は1219名、住宅被害は石川県だけで9万戸を超え、大きな被害が出ている。また、同年9月の奥能登豪雨災害による、被害が拡大した。今回は、1995年の阪神・淡路大震災を契機に誕生し、その後全国の被災地支援に取り組むNGOの現地拠点と連携しながら、能登半島の復興・コミュニティ再生に向けた支援活動を行なう。また、大阪での情報発信・啓発活動にも取り組む。

活動の目的

- ・市民団体、他大学生等と協力しながら、被災地の復興に貢献する。
- ・災害がもたらす社会課題への理解を深め、各地での災害時における支援活動や防災への意識を高める。

求める人材像

- ・被災地の復興に貢献する意欲と行動力を有する。
- ・多様な人とコミュニケーションをとりながら、活動ができる。
- ・宿泊を含む活動の際に周囲と協調して責任をもって行動できる。

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ 災害・復興問題や地域の課題に関する多面的な理解力
- ▶ 他者と協働するコミュニケーション力
- ▶ ボランティアを通して人に寄り添い、支援できる力